

科目名	幼児と音楽表現			担当教員	木 許 隆
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	保育者に必要な「自然な歌声」を習得する。また、歌唱力と表現力を豊かにし、子どもの歌いたいと思う気持ちを引き出すことを目指す。				
授業の概要	子どもと保育者が展開する「うたう活動」を想定し、自身が正しい音程でうたうことを目指す。また、子どもの歌をうたい、歌唱力や表現力を磨く。				

授業計画	
第1回	ソルフェージュと音楽教育について学ぶ。また、保育現場で用いられる生活の歌①登園時、昼食時をうたう。
第2回	声と言葉について学ぶ。また、保育現場で用いられる生活の歌②おやつ時、降園時をうたう。
第3回	しなやかな身体をつくる実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌①春（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第4回	うたう身体をつくる実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌②春（音程間隔が広い教材）をうたう。
第5回	身体で表現する実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌③夏（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第6回	響きをつくる実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌④夏（音程間隔が広い教材）をうたう。
第7回	楽譜を読みリズムを刻む実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌⑤秋（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第8回	インターバル①短2度、長2度、短3度、長3度の実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌⑥秋（音程間隔が広い教材）をうたう。
第9回	ハーモニーの実践をグループで行うまた、保育現場で用いられる季節の歌⑦冬（音程間隔が狭い教材）をうたう。
第10回	インターバル②完全4度、完全5度の実践を行う。また、保育現場で用いられる季節の歌⑧冬（音程間隔が広い教材）をうたう。
第11回	うたい方①姿勢、呼吸、発声の実践を行う。また、保育現場で用いられる行事の歌①春をうたう。
第12回	うたい方②発音、響きの実践を行う。また、保育現場で用いられる行事の歌②夏をうたう。
第13回	うたい方③拍子の実践を行う。また、保育現場で用いられる行事の歌③秋をうたう。
第14回	様々な表現方法を学ぶ。また、保育現場で用いられる行事の歌④冬をうたう。
第15回	総合練習を行う。

事前学修	0.5時間	教科書の内容を一読し、不明な点を質問できるようにする。
事後学修	0.5時間	授業内容の理解を深める。
フィードバックの方法	授業内の指導によってフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0％	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	100％	授業態度、課題の到達度、授業に対する意欲などを総合的に評価する。
補足事項		

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
うたうソルフェージュ	木許 隆ほか	圭文社	9784874460931C1037	無
歌のファンタジー	木許 隆	圭文社	978487466064	無
参考資料	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領			